



「徳島の宝」阿波おどりを「世界の宝」に！ ～徳島県の阿波おどり世界展開政策～

徳島県観光政策課・海外誘客室・国際課

世界に広がる阿波おどりの輪

徳島県発祥の伝統芸能「阿波おどり」は、400年以上の歴史を持ち、日本三大盆踊りのひとつに数えられています。毎年8月に徳島市で開催されるお祭りには、100万人を超える見物客が訪れ、年一番の盛り上がりを見せます。



徳島市の阿波おどり演舞場で踊りを披露する
あらしそ連参加者

阿波おどりのグループは「連」と呼ばれ、高張り提灯を先頭に、踊り子は女踊りと男踊り、ハッピー踊り等、鳴り物は笛や三味線、締太鼓、大太鼓等で編成されることが多いです。行列で通りを賑やかに進むのが特徴ですが、華麗な舞台踊りも盛んに行われています。

阿波おどりは、現在では首都圏や関西をはじめ国内各地、そして世界各地で開催され、日本を代表する伝統芸能となっています。

あらしそ連について

「阿波おどり」は、国籍や人種、宗教や言語などを越えて、誰もが笑顔で「踊りの輪」に入ることができる点が最大の魅力であり、「平和の象徴」ともいわれています。

徳島に約1,000あるといわれる阿波おどり連の中でも、徳島県国際交流協会「あらしそ連」は、「争いのない

平和な世界」という理念のもと1980年につくられ、徳島在住の外国人や留学生たちが一緒になって阿波おどりを楽しんでいる国際交流連であり、JET参加者も多数参加しています。本番の夏の阿波おどりでは、約30か国から、250人以上が参加しており、徳島の夏に彩りを加えています。県内在住外国人の交流の場にもなっており、帰国後も阿波おどりを続けてくれるJET参加者もいます。

心浮き立つ二拍子のリズムによって踊りの輪の中に入れば、最高のワクワク感・ドキドキ感を共有できますよ！



香港ディズニーランド開園後「初」の伝統芸能イベントとして阿波おどり公演を実施

世界阿波おどりサミット

2019年11月、徳島県では、阿波おどりを通じて、徳島と日本全国、そして世界の皆様との絆がより深いものとなるよう、「世界阿波おどりサミット」を初開催し、東京・高円寺や埼玉・南越谷、関西など全国の阿波おどり団体をはじめ、欧米や東アジアなど世界の阿波おどり連の代表者の方に、本場・徳島に集まり、各国・地域での活動状況などについてご報告いただきました。

各国の阿波おどり連代表者からは、「振り付けが派手なのでアメリカ人に合っており、受け入れられやすい」、「ブラジル人は美しい衣装に関心があり、また身体表現が大好きなため、輪踊りへの参加者が多く喜ばれている」、「国境や宗教を越えて受け入れられるのが踊りの良さ。全米や世界を巻き込んだ大会を開きたい」などの意見を聞くことができました。海外での阿波おどりに関わる方々の意見を聞くことができる貴重な機会となりました。

サミットの最後に、阿波おどりの理念や未来のあり方について話し合い、阿波おどりの輪をさらに広げ、阿波おどりを「世界の宝」に育てていこうという内容を、「世界阿波おどり宣言」として取りまとめました。



世界阿波おどりサミットにおける各国阿波おどり連のパネリストの方々

阿波おどりの海外派遣について

また、徳島県では、阿波おどりの魅力を世界へ発信し、海外から本県への誘客を促進するため、阿波おどりの選抜連を世界各地へ派遣しています。

2019年は、台湾・桃園市での「土地公国際民俗芸術祭」や、在香港日本国総領事館主催による「日本秋祭in香港」の一環として、「香港ディズニーランド」での、開園後「初」となる伝統芸能イベントである、阿波おどり公演を実施しました。



台湾・桃園市での「土地公国際民俗芸術祭」の様子

今後とも、「観て楽しい、踊ればもっと楽しい」阿波おどりの魅力を全世界の皆様にご体感していただき、「阿波おどり」の輪をさらに広げるとともに、国内外から徳島県への一層の観光誘客に取り組んでいきたいと考えています。「おもてなし」の心あふれる徳島県は、皆様のご来県を心よりお待ちしております。

さあ、「踊る阿呆に見る阿呆 同じ阿呆なら踊らにヤソソソ」のかけ声とともに、心浮き立つぞめき囃子が聞こえてきましたよ！

チャンカチャンカ！ Let's dance!
Awaodori!